



# 松 明

(平成30年11月発行・隔月発行) 2018 vol.6



病院祭開会挨拶

## 第11回福島病院祭 「笑顔花咲く 福島病院」

病院祭実行委員会事務局（管理課庶務係） 熊 澤 龍

今年の福島病院祭は10月20日（土）に開催されました。

氏家院長による開会挨拶、指導室の菅井指導員、金沢保育士による開会宣言後、たんぽぽ保育園児のダンスを皮切りにイベントが始まりました。保育園児のダンスはとてかわいらしく、口笛世界大会2連覇を果たした高木満理子さんは口笛とは思えない凄いショーを演奏して下さり、クラップスチアリーダーズさんは入院患者さんに元気を伝える迫力あるチアリーディングを披露してくれました。

お昼になると、来場した皆さまは、トン珍（焼きそば等）・玉木屋パン・橋本農園（果物）、たんぽぽ保育園保護者によるフランクフルト等の販売コーナーで買い物をされていました。

また、外来にはアロマハンドマッサージや薬の分包体験、無料の水ヨーヨーや綿あめ等のコーナーが設置され、賑やかな雰囲気になりました。また、体験コーナーはスタンプラリーになっており、小さなお子様からご年配の方まで楽しんでいただいている様子が伺え、より小さなお子様はおもちゃの広場に設置された様々なおもちゃや、布絵本のパフォーマンスで楽しんで頂けました。

最終演目は須賀川桐陽高等学校音楽部の皆さんによる吹奏楽の演奏で大いに会場を盛り上げていただき、最後に看護部長より挨拶を頂き、参加されました皆様の笑顔と、熱気に包まれたまま病院祭は閉会となりました。

病院祭の成功は職員だけではなく、看護学生のボランティアや、イベントに出演頂いた演者の皆様、表には出てこない様々な方のご協力のおかげです。皆様、本当にありがとうございました。



須賀川桐陽高校音楽部のみなさん。  
ステージイベントの最後として、素晴らしい演奏をしてくれました。

### 本号のご案内

- |                                 |   |                                     |   |
|---------------------------------|---|-------------------------------------|---|
| ●第11回福島病院祭 「笑顔花咲く 福島病院」 ……      | 1 | ●看護部だより 宮城病院における医療安全相互チェックを実施しました … | 5 |
| 2018福島病院祭スナップ ……                | 2 | 新人看護師研修「麻薬の取り扱い」 ……                 | 5 |
| ●看護学校だより 最後の文化祭を終えて 皆様に感謝！ …    | 3 | ●ハッピーハロウィン たんぽぽ保育園 ……               | 6 |
| 誓いの式を終えて 決意をあらたに ……             | 3 | ●この季節の感染管理について ……                   | 6 |
| ●療育だより 心魂プロジェクト・デリバリー・パフォーマン …… | 4 | ●健康プラザ 骨密度検査について ……                 | 7 |
| バスハイキング ～ムシテックワールド～ ……          | 4 | ●地域医療連携室だより 登録医のご紹介 下地脳神経内科 ……      | 7 |
|                                 |   | ●外来担当医表 ……                          | 8 |

## 納得の医療で地域や社会に貢献

### 病院理念

福島病院では「納得の医療」で地域や社会に貢献を理念として掲げ、職員一同、●人間として対等な患者さんの目線に立ち、●分かり易い説明を行い、同意を得た上で、●安全・安心で質の高い、患者さんやご家族を始め、地域社会の方々、勿論病院職員など誰にでも納得していただける医療の提供を常に心掛けております。



2018

# 福島病院祭スナツプ



たんぽぽ保育園児のダンス、かわいさ100倍です。



口笛世界大会2連覇の高木満里子さん。昨年に引き続き素晴らしいショーでした。



クラブスチアリーダーズさん。来場者、入院患者さん、スタッフに元気を頂きました。



院長、子供たちも一緒にダンス！



無料のキッズコーナーは今年も大盛況でした。



ボランティアの方々によるおもちゃの広場、子供たちは国内外のさまざまなおもちゃや手作りおもちゃで遊んでいました。



なにめの屋さんによる、布絵本の読み聞かせです。みんな夢中で聞いていました。



検査で使う高性能顕微鏡を覗いています、なにが見えるかな～。



薬剤師体験、チョコを使ってのお薬の分包体験です。



最後はみんなで集合写真、笑顔で終わることができました。



今年度も華翔祭にご来場いただき、ありがとうございました。今年のテーマは「笑～ Grow up smile～」でした。各学年で協力して地域の方々に楽しんでもらえるように取り組みました。今年度で最後となる華翔祭は学生の人数も年々少なくなっている中で、準備をするのにも時間がかかりとても大変なものとなりましたが、福島病院附属看護学校学生の誇れる点である「目標に向かってみんなで団結できる力」を活かし、今までにないほどの良い華翔祭を創り上げることができました。来場してくださった方々からは「笑顔で優しくしてくれた」



「少人数でも頑張っていた」「今年で最後なのは残念」などというあたたかいご感想をいただきました。今年は146名の方々にご来場いただき、その中でもお子様が多くみられ学生が提案したキャラクター探しやバルーンアートを喜んでいただけました。学生一同準備から頑張った甲斐があり、とても充実した思いで華翔祭を終えることができました。看護学生としても得るものがありました。この経験を活かして今後の学校生活も頑張っていきたいと思います。



11月2日(金)に私たち15回生の誓いの式を無事に終えることができました。実技テストの練習や筆記テストがある中、昼休み等の時間を活用し、「ナイチンゲール誓詞」や式歌「未来へ」を練習してきました。

練習を始めたころは、覚えることに精いっぱいでしたが、誓いの式が近づくにつれて、詩や歌詞の意味を深く考えるようになり、「誓いの式を成功させ、見に来てくれる家族に成長した姿を見てもらいたい」という意識が高まってきました。

誓いの式当日は、火を灯したキャンドルを持ち、厳かな雰囲気の中行われ、練習を重ねたナイチンゲール誓詞

を「看護師になる」という決意を胸に、しっかりと唱えることができました。ナイチンゲール誓詞の中に「わが手に託された人々の幸のために身を捧げん」とあります。誠実な愛と正しい看護の技術と知識を身につけ、患者さんにご家族の幸せを考え、行動ができる看護師になるために、意義のある学校生活を送っていきたいと思います。くじけそうなときや自信をなくしてしまうときもあると思いますが、15回生25人全員で助け合いながら、学びを深め、理想とする看護師像に近づくために一歩ずつ歩んでいこうと思います。



## 療育だより

# 心魂プロジェクト・デリバリーパフォーマンス

療育指導室 主任保育士 天 内 奈津子

10月10日(水)、NPO法人心魂プロジェクトによるデリバリーパフォーマンスが行われました。この公演は、全国保育士協議会の学習会に参加した際、とても感銘を受け、是非当院にも来ていただけないかとお声がけをさせていただいたことがきっかけで実現しました。

当日のリハーサルでは、音響や照明などプロの目線で厳しく調整されており、よりいっそう公演への期待が高まりました。そして、会場に患者さんとご家族が入りウェルカムミュージックが始まると、患者さんの目が輝き始めました。キャスト自己紹介では、「まーくん」「みーちゃん」などみんなで声を合わせて大きな声で呼び、会場の空気が一気に和んだように感じました。その後、ひとりひとりの所へ行って傍らで素敵な歌や踊りを踊ってくださいました。夕方には、職員向けのパフォーマンスもあり、たくさんの方々にお集まりいただきました。

NPO法人心魂プロジェクトの皆様には、多くの感動を届けていただき本当に感謝しております。是非、また来年も来ていただきたいです。

今回の行事にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。



## 療育だより

# バスハイキング ～ムシテックワールド～

療育指導室 保育士 小 室 美 佳

秋の風を感じるようになってきた9月下旬、今年度6回目のバスハイキングに行ってきました。今回の行先はムシテックワールドで、アイスクリーム作り体験を行いました。

バスハイキングでムシテックワールドへ行くのは今年度初でしたが、行きのバス車内ではパンフレットを見ながら、期待に胸躍らせているようでした。

到着してすぐに全員で実験室に向かい、早速アイスクリーム作りの説明を受けました。目の前の机には、卵・生クリーム・砂糖・塩・氷が入った容器が並び、これらの材料でどうやってアイスクリームができるのかな？と不思議そうな表情を浮かべていました。作り方はとても簡単で、材料を混ぜたら、あとは冷やしながらひたすら混ぜ、固まってきたら剥がしていくという作業ですが、ボールが氷でキンキンに冷えてくると、液状のアイスクリームがどんどん固まっていくので、患者さんもご家族も皆真剣な表情で手を動かしていました。そして、アイスクリームができあがると、皆とても嬉しそうな表情を浮かべ、おいしそうにアイスクリームを頬張っていました。

自分たちで作った達成感がとても素晴らしい味付けになっていたようです。

アイスクリーム体験の後には、各自ムシテック内の展示物を見て回ったり、秋の昆虫や蛇のアオダマシオウに触れたり、皆思い思いの時間を過ごせたようです。来年度も患者様が様々な体験ができるよう、充実した活動を提供していきたいと思います。





## 看護部だより

# 宮城病院における医療安全相互チェックを実施しました

医療安全管理室 渡 邊 美紀江

医療安全相互チェックは、国立病院機構の各病院における医療安全対策の現状について病院間で意見交換及び評価を実施し、医療安全対策の標準化を推進するとともに、医療の質の向上と均てん化を図ることを目的として実施されています。平成 27 年度までに全ての病院の相互チェックが終了し、平成 28 年度から 30 年度にかけて二巡目の相互チェックを行っており、今年度は、いわき病院・宮城病院・当院の 3 施設間で実施することとなりました。去る 9 月 18 日（火）には、当院がいわき病院よりチェック・評価を受け、課題が明確になったと共に改善に向けて取り組んでいるところです。

そして今回、当院が宮城病院のチェックを行うため関連部門より訪問者を編成し、10 月 23 日（火）に宮城病院を訪問しました。院内視察を中心に、医療安全管理体制、感染管理体制、薬剤科・検査科・放射線科・栄養科・療育指導室・看護部の各部門における現場での医療

安全対策の実施状況をチェック・評価しました。さらに、当院の現状や課題も踏まえた情報収集や活発な意見交換を行うこともできました。今回の相互チェックを機会に、今後の医療安全対策や院内感染対策等について、病院間で積極的に連携を図ることで医療の質を向上させていけるよう取り組んでいきたいと思っています。



## 看護部だより

# 新人看護師研修「麻薬の取り扱い」

教育担当看護師長 菅 原 由香里

新人看護師が入職して早くも 7 か月が経ちました。今は、夜勤も入り患者さんの看護ケアに自信をもって臨んでいる姿が頼もしく思います。しかし、まだまだ扱えない分野があります。その一つが「麻薬」の取り扱いです。「麻薬」「毒薬」「劇薬」「ハイリスク薬」と見るからに「怖そう」と感じますよね。私たち看護師が取り扱う「薬」がいかに「リスク」があるのかまず「知る」ことが肝心です。この研修では、麻薬を取り扱う際の厳重な管理とその必要性（理由）を学んでもらいました。今回は、薬剤科長から麻薬の種類・薬効・法制度など、佐久間看護師長より麻薬使用時の人体への影響、観察の重要性など看護の視点での講義をして頂きました。その後、麻薬の指示受け～麻薬の投与～返納までのデモンストレーションを見学してもらいました。麻薬施用箋や麻薬のチェックリストの記載など複雑な手順があり、皆さん真剣にメモしたり、マニュアルと突合していました。1 度の研修で覚えきれものはないと思います。そんな時は「医療安全管理マニュアル」に戻ってみましょう。先輩達にも聞きながら、確実に麻薬の取り扱いができるよう努力し

てほしいと思います。研修生の皆さんお疲れ様でした。



# ハッピーハロウィン たんぽぽ保育園

管理課 庶務係 熊澤 龍

たんぽぽ保育園では、季節に合わせた様々な行事を行っており、今回も10月31日（水）にハロウィンを行いました。

ハロウィンは、毎年10月31日に行われる、古代ケルト人が起源と考えられているお祭りで、もともとは秋の収穫を祝い、悪霊などを追い出す意味合いのある行事だったそうです。今はイベントとして定着し、子どもたちが魔女やお化けに仮装して近くの家々を訪れてお菓子をもらったりする風習になっています。

当院保育園では、年長さんは年少さんと手を繋ぎながら、もっと小さな子は先生が押すバギーに乗り、保育園から病院までの道を、ミニオンやノンタンなど様々なコスプレをした子供たちが、はっぴーはろーいん！とりっくおあとリーと！と元気な声を響かせながら病院を訪問してくれました。

いたずらされるのも楽しいと思うのですが、やはり子供たちにはお菓子の方が嬉しいと思いますので、こちらでも悪魔のコスプレをした医事専門職からお菓子をみんなにプレゼントしました。他にも訪れた職員の皆様からお菓子のプレゼントがあり、こどもたちの紙袋はお菓子でいっぱいになり、子供たちからは、御礼の言葉と笑顔のプレゼントを頂きました。



## この季節の感染管理について

感染管理認定看護師（副看護師長）高橋 雄司

福島県県中保健福祉事務所の報告を確認すると、福島県における昨シーズンのインフルエンザはH29.11.27～H29.12.3に本格的な流行を迎えていました。今シーズンにおいてH30.10.8～H30.10.14に県内で6件のインフルエンザ（うち須賀川・岩瀬地区1件）報告があり、いよいよ福島県もインフルエンザを心配しなければならない季節を迎えることとなりました。

インフルエンザは、発熱（通常38℃以上の高熱）、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然現われ、咳、鼻汁などの症状がその後にみられます。主な感染経路は咳やくしゃみによる飛沫感染ですが、ドアノブや手すり、電車やバスのつり革などに飛沫が付着している場合、それらを触れた手を介して感染する接触感染も感染の原因となります。予防には流行前のワクチン接種や適度な湿度の保持、外出後や食事前の手洗い、また咳やくしゃみがある時のマスクの着用などがあります。

福島病院では、病院入り口に手の消毒用アルコールやマスク販売用の自動販売機を設置しております。来院の際には是非ご利用ください。また、インフルエンザの予防接種も行っておりますので、予防接種にいらしてください。

厚生労働省



症状があるときはマスク、せきスチットも必ず着用

せき、くしゃみなどの症状があるときは、きちんとマスクを。人にうつさず、とっさに出そうときは、顔をそらして、ティッシュなどで口と鼻をおおいます。

手を洗いグマ。



外出したあとは、こまめに、正しい方法で手を洗います

せっけんやハンドソープをつかって、手のひらから手の甲、指の間や指の隙間、手首までしっかりと。洗ったあとは、きれいなタオルなどで十分にふきとります。

インフルエンザ予防の、おやくそく。  
お口をカバー！

インフルエンザの流行は、冬（12月～2月）にピークをみます。外出したあとは、こまめに、正しい方法で手を洗います。せき、くしゃみなどの症状があるときは、きちんとマスクを。人にうつさず、とっさに出そうときは、顔をそらして、ティッシュなどで口と鼻をおおいます。

今回は骨密度検査についてお話ししたいと思います。「骨密度検査」とは「骨密度」つまり「骨がどのくらいの強度を保っているか」を調べる検査です。

人間は加齢により骨密度が低下し、いわゆる「スカスカの骨」の状態になります。この状態になると、ちょっとした転倒や重いものを持つなどの生活の中での動作で骨折を起こしやすい状態となります。

また、人の骨は「骨代謝」として「骨吸収と骨形成」を繰り返しています。骨吸収とは古くなった骨が分解され、カルシウムが血液中へ放出されること、また骨形成とは骨芽細胞によって新しい骨が作られることです。これらの骨代謝バランスを保つことにより「骨強度」を保っています。「骨代謝」には女性ホルモンである「エストロゲン」が深く関わっており、骨吸収を緩やかにする働きがあります。女性は閉経後にこのホルモンが低下し、その結果として骨密度が低下するため、「骨粗鬆症」の発生リスクが高まります。

骨密度検査の方法には DEXA 法、MD 法、超音波法の 3 種類がありますが、当院では、DEXA 法という強さの違う 2 種類の X 線を骨に照射し、その吸収率の差で骨密度を計算しています。また検査をする部位は腰椎、股関節、前腕部とありますが、当院では前腕部を使用して検査を行います。検査時間 5 分程度です。是非検査してみてくださいはいかがでしょうか。



## 地域医療連携室だより

登録医のご紹介  
下地脳神経内科

平成 24 年 9 月に郡山市堤 1 丁目に「下地脳神経内科」を開院し、新さくら通りとあさか野バイパス交差点近くのわかりやすい位置にあります。

院内は高齢者や障害のある患者様に配慮しバリアフリー化、検査では最新の MRI 装置を搭載し、従来の装置と比べて 30% 低減した環境で検査を受けることができ、患者様への負担や不安感を減らすために様々な工夫を行っています。

院長の下地眞哉先生は、日本神経学会専門医・指導医、日本内科学会認定内科医、医学博士で、地域の患者様の疾病の予防に重点を置いた診療と、慢性期に入った病気をお持ちの患者様のケアを中心に診療を行っています。

●診療科目：神経内科 内科

●〒963-0205 福島県郡山市堤 1-84



024-962-7751

## 診療時間

|                  | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|------------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前 9:00 ~ 13:00  | ● | ● | ● | ● | ● | ● | — |
| 午後 14:30 ~ 18:00 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | — |

## 診療時間

午前 9:00~13:00 / 午後 14:30~18:00

※受付は終了の 30 分前までに

## 休診日

日曜日・祝日





## ●外来担当医表●

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

【平成30年11月1日より】

| 区 分                    | 月                      | 火                  | 水                  | 木                                  | 金                  |
|------------------------|------------------------|--------------------|--------------------|------------------------------------|--------------------|
| 内 科 1                  | 安 田 千 尋                | 安 田 千 尋            |                    | 大 戸 齊 ※                            | 安 田 千 尋            |
| 内 科 2                  | 佐 藤 由 紀 夫<br>(第1・3)    |                    |                    |                                    |                    |
| 検 査                    |                        |                    |                    | 安 田 千 尋                            |                    |
| 脳 神 経 内 科              | 伊 藤 英 一<br>(予約制)       | 根 本 和 夫<br>(予約制)   | 伊 藤 英 一<br>(予約制)   | 根 本 和 夫<br>(予約制)                   | 杉 浦 嘉 泰<br>(予約制)   |
| 小 児 科                  | 石 井 勉 (2・4)<br>福 島 医 大 | 氏 家 二 郎<br>石 井 勉   | 廣 瀬 千 穂            | 氏 家 二 郎                            | 河 原 田 勉            |
| 専 門 外 来<br>(発達小児クリニック) |                        | 氏 家 二 郎<br>石 井 勉   |                    |                                    | 河 原 田 勉            |
| 専 門 外 来<br>(小児神経外来) ※  | 平 山 恒 憲<br>(第2)        |                    |                    | 石 井 希 代 子 (1・3・5)<br>加 藤 朝 子 (2・4) |                    |
| 専 門 外 来<br>(小児循環器外来)   |                        |                    | 桃 井 伸 緒<br>(第2・4)  |                                    |                    |
| 小 児 専 門 外 来            |                        |                    | 予 防 接 種<br>(午後)    |                                    |                    |
| 整 形 外 科                | 古 川 浩 三 郎<br>(予約制)     | 古 川 浩 三 郎<br>(予約制) | 古 川 浩 三 郎<br>(予約制) | 古 川 浩 三 郎<br>(予約制)                 | 古 川 浩 三 郎<br>(予約制) |
| 小 児 外 科                |                        |                    |                    | 清 水 裕 史                            |                    |
| 脳 神 経 外 科              |                        | 福 島 医 大<br>(第2・4)  |                    |                                    |                    |

※小児神経外来は再来のみとなります。

※大戸斉先生の診療日についてはお問い合わせください。

●外来受付時間は8:30～11:00までです。急患については随時受付いたします。

●外来担当医表は平成30年11月1日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認下さい。

### ●専用ダイヤルができました●

診療のお問い合わせ・ご相談 (月～金 8:30～17:15)

診 療 の 予 約 ・ 変 更 等 (月～金 13:00～17:00)

**専用ダイヤル 0248-75-2259**

### ●編集後記●

先日娘と2人で羽鳥湖高原でキャンプをしてきました、紅葉も終わり山は落ち葉でいっぱい、秋の終わりと冬の始まりの寒さを肌で感じてきた休日でした。須賀川は積雪はあまりありませんが、坂が多く路面も凍結しやすく、病院周辺でよく事故を見かけます、皆様早めの冬タイヤの準備と安全運転にお気をつけください。(編集委員 K)



Fukushima National Hospital  
独立行政法人国立病院機構

**福島病院**

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地  
☎0248-75-2131 (代表)

<http://fukushima-hosp.com/>